

# 政策提案特別委員会審査日程

日 時	令和6年9月4日(水)
	一般会計予算決算常任委員会 終了後
場 所	第1委員会室

## 付議事項

1 政策提言の骨子について

2 その他

## 政策提言骨子(案)

### 第1章 はじめに

### 第2章 本市の現状

※人口の推移

※社会増減及び自然増減の推移

※年齢階級別純移動の時系列推移 など

### 第3章 政策提言

#### <公共交通の充実>

提言項目	提言内容
交通弱者に対する移動支援	高齢者等に「バス優待乗車証」を交付することで、移動手段を確保し、社会参加の促進を図る。
	高齢者や身障者等を対象に「福祉バス」を運行し、通院や買い物などの外出を支援する。
担い手の確保	交通事業者に新たに運転士として就職した者に対して「奨励金を交付」し、担い手不足を解消する。
	市町村やNPOなどが自家用車を活用して提供する有償の旅客運送「公共ライドシェア」を導入することで、既存の地域公共交通を補完する。
新幹線さくら停車の要望	交流人口増や地域活性化につながる「新幹線さくらの厚狭駅停車」の実現において要望活動をする。

#### <次世代の育成支援>

提言項目	提言内容
奨学金返還支援	地方の未来を担う若者を応援するため、「奨学金の返還を支援」し、若者の定着促進を図る。
校種間連携の強化	幼保小中高大が校区の実状に応じて「校種間の連携を強化」し、様々な体験や学びを積み重ねる。

次世代育成基金の創設	奨学金返還支援など次の世代を担う人材を育成支援する事業の原資となる「基金を創設」する。
------------	---

<山口東京理科大学との連携>

提言項目	提言内容
地域発展への貢献	知の拠点である大学の強みを生かし、LABV 事業への参画などを通じて、まちの賑わいを創出し、「地域の発展に貢献」してもらう。
厚狭地区まちづくり構想	医療保健学部(仮称)の設置を視野に入れた「厚狭地区まちづくり構想」を策定し、大学のあるまちづくりを実のあるものにする。

\*参考(日本版ライドシェアと公共ライドシェアとの違い)

日本版ライドシェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間のタクシー会社(主に都市部)</li> <li>・広く一般の利用者(若年層や都市部の住民が主)</li> <li>・利便性の向上と交通費の削減が目的</li> <li>・利用者が全額自己負担</li> <li>・観光客の利便性向上に寄与</li> </ul>
公共ライドシェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治体が運営主体</li> <li>・地域のニーズに特化したサービス提供が可能</li> <li>・過疎地や公共交通機関が不足している地域に住む高齢者や車を持たない住民が主な対象</li> <li>・自治体が一部を補助することで低額が可能</li> </ul>

\*先進地 → 石川県小松市、岡山県総社市など

\*公共ライドシェアの課題

- ・既存の交通手段との競合
- ・サービスの利用に対する抵抗感
- ・利用者数の拡大が難しい
- ・安全性の確保と事故対応